



こども部 こども相談センター 社会福祉士(2年目職員)

1 担当業務は？

子育ての不安や悩み、しつけ、児童虐待など18歳未満の子どもと家庭の相談に応じています。
私の業務は地区の担当ケースワーカーになるため、父母や子どもと面談をして市の社会資源に繋いだり、改善を求めることもあります。様々な社会資源(児童相談所、保育園、学校、医療機関、NPO法人、地域住民など)と役割分担をして世帯に関わるため、ケース全体の調整役としての立場でもあります。

2 やりがいは？

子どもが安全な形で過ごせることを第一に考え業務にあたっています。様々な関係機関と協力をするため、それぞれの立場の役割を学ぶことができ、社会福祉士として非常に成長できる環境です。私自身も二人の子どもを育てる立場として勉強している最中です。
児童相談所の開設に向けて新たな取り組みも始まり、その一員として働くことに意義を感じています。

3 柏市に就職した理由

私は柏市の小中学校を卒業し、大学を中退してから飲食店に就職しました。縁あってNPO法人で福祉業界に関わり始め、社会福祉事業職員研修所を経て社会福祉士の資格を取得。柏市は児童相談所を開設するため社会福祉士を積極的に採用していることもあり受験をしました。
これまでは民間の立場から行政を見ていましたが、せっかく行政の立場で働くのであれば地元である柏市に貢献をしたいと思い働く決意をしました。

4 柏市の好きなおとこ

こども相談センターは、社会福祉士・心理師・保健師・精神保健福祉士・保育士・一般事務と、多種多様な職種や年齢の職員で構成されています。全庁を見ても、これだけの人材が働く環境は無く、それぞれの立場や経験を踏まえた意見を会議で採り、ケースに向き合います。
福祉の現場ではケースワーカーの力が強いと言われますが、自身の判断が間違っていたり、偏った考えを持っている際に指摘してくれるメンバーがいることはとても心強く、安心して働くことができる職場が強みだと思います。

一日のスケジュール

9:00	子どもを保育園に送ってから時差出勤。メールと1日の流れを確認
9:30	新規ケースの支援方針の確認
10:00	電話対応や家庭訪問、関係機関への同行支援など
13:00	継続ケースについての支援状況や終結ケースの報告
14:00	関係機関との会議
17:00	記録作成、会議資料の作成
17:45	退勤。子どもを保育園に迎えに行き帰宅

